

学都 **サイエンスデイ** 仙台 宮城 **10th Anniversary**

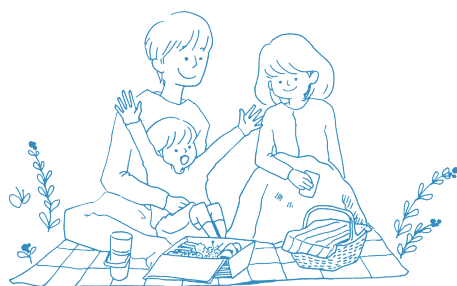
主催：NPO法人 **natural science**

災害と

対話フォーラム

あなたの残したい未来社会

心豊かに 生きたい



2016年7月17日(日)

13:00~15:00

定員1000名

東北大学 百周年記念会館川内萩ホール (川内キャンパス内)

主催：国立研究開発法人科学技術振興機構

共催：東北大学 東北大学災害科学国際研究所 宮城県多賀城高等学校 NPO法人Natural Science 東北大学大学院環境科学研究科

後援：東北工業大学

協力：福島県 株式会社福島ガイナックス 東北芸術工科大学東北復興支援機構

参加申し込み <http://www.science-day.com> お問い合わせ katsudo@jst.go.jp

参加費
無料

海に囲まれ、四季に恵まれた日本は、
深刻な災害とくらしの再生、
自然との共生を歴史に刻んできました。
科学技術の発展した現在では、
世界最先端の自然災害科学研究が進められています。
優れた知識や技術は、
大災害によって大きなダメージを与えられた
人々のこころ、人と人との関係、
そして社会を再生させるための大きな助けになります。
しかし、それだけで十分でしょうか？
科学や技術は何を目指して発展するのでしょうか？
20年、30年後、わたしたちは何に幸せを感じ、
どのような社会を求めているのでしょうか？

incorporated nonprofit organization
natural science
知的好奇心がもたらす心豊かな社会の創造にむけて



災害科学国際研究所
IRIDeS
International Research Institute of Disaster Science

国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency



サイエンスアゴラ

「サイエンスアゴラ」は、あらゆる人に開かれた、
科学と社会をつなぐ広場です。本企画は、
「サイエンスアゴラ」の一環として行われています。

心豊かに 生きたい



タイムテーブル / 登壇者

13:00~13:10	講演 「実践的防災学」の創成と国際連携の現状 奥村 誠 東北大学災害科学国際研究所 副所長 災害交通の専門家。交通基盤、地域・都市計画の実務への協力を行いながら、災害に強く、支援をしやすい地域づくりに取り組む。	
13:10~13:50	講演 「立ちなおっていくチカラ」 金田 諦應 傾聴移動喫茶カフェ・デ・モンク マスター、曹洞宗通大寺 住職、 東北大学大学院文学研究科実践宗教学寄附講座 諮問委員、 日本臨床宗教師会 副会長 震災直後の2011年5月から、被災者の話を聴く「傾聴活動」「カフェ・デ・モンク」を主催。移動式の喫茶店で、軽トラックにコーヒーやケーキなど道具一式を積みこみ、様々な宗教・宗派の宗教者と共に、週に1度仮設住宅などを訪問。傾聴を通じ、被災者が抱える“心の問題”に寄り添う。	
	講演 「心豊かな暮らしのかたち」 石田 秀輝 合同会社地球村研究室 代表、東北大学 名誉教授 (株) INAX (現LIXIL) 取締役CTOを経て、2004年より東北大学教授。快適性や利便性のみを追及する「依存型」から、不便さや不自由さを受け入れる「自立型」のライフスタイルへと移行するための、新しいものづくりや暮らしのかたちを提案。現在は鹿児島県沖永良部島を拠点に、「間抜けの研究」に取り組む。	
13:50~14:45	トークセッション ～あなたの残したい未来社会 奥村 誠 × 金田 諦應 × 石田 秀輝 コーディネーター 板橋恵子 ～ 多賀城高校災害科学科のみなさんを交えて ～	
14:45~15:00	ミニコンサート ヘンリ・タタル(仙台フィル) & 木下順子	

終了後、福島の実況とその「光と影」を伝える、実話に基づいた
 短編アニメーション「未来への手紙～この道の途中から」を上映します(上映時間:約25分)。

協力：福島県 (株) 福島ガイナックス



東北大学百周年記念会館 川内萩ホール (川内南キャンパス内)

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 40

交通案内：http://www.bureau.tohoku.ac.jp/hagihall/access/

●地下鉄 東西線
 ー ルート1 仙台駅から国際センター駅まで5分 ※国際センター駅下車 西1出口から徒歩約5分 (扇坂階段経由)
 ー ルート2 仙台駅から川内駅まで6分 ※川内駅下車 南2出口から徒歩約7分 (川内北キャンパス内経由)

東北大学災害科学国際研究所所長の今村文彦教授をパーソナリティに迎えた防災啓発番組を2004年から制作。災害時の非常食のレシピを募集する『サバ・メシ*コンテスト』を企画・実施するなど、震災前から、防災・減災に取り組む。震災後は、ラジオ版『カフェ・デ・モンク』のパーソナリティを務め、ゲスト・インタビューを通じて、震災後を生きるヒントを発信。

エフエム仙台 防災・減災プロデューサー

板橋 恵子

